

京都大学人文科学研究所退職記念講演会

それぞれの講演会で開催日時・会場が異なりますのでご注意ください。



竹沢泰子 教授

人間の分類と差別 —一人種をめぐる文化人類学的探究—

第一部 講演会 [13:30~16:30 (開場 13:00)]

コメンテータ:

斉藤 綾子 (明治学院大学教授)

岩谷 彩子 (京都大学人間・環境学研究科教授)

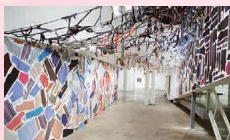
徳永 悠 (京都大学人間・環境学研究科准教授)

司会:

西郷 南海子 (日本学術振興会特別研究員PD)



Laura Kina, *Kasuri* (カスリ[絹]), 2010. Private collection.



Jean Shin, *Project SI (Cut Outs and Suspended Seams)*, 2004. Installation view at The Museum of Modern Art, Queens, New York.

第二部 交流会 [17:00~18:30]

[参加方法]

事前登録が必要です (聴講は無料)

対面方式による講演 (先着200名まで) と webinar による
オンライン同時配信の併催

1 対面での参加を希望される方は、こちらのリンクもしくは二次元
コードからお申し込み下さい。

<https://forms.gle/KNApFDihCUfwgSJg9>

なお、定員に達し次第、募集を締め切りますので、予めご了承ください。



対面参加用

2 オンラインでの視聴を希望される方は、こちらのリンクもしくは
二次元コードから事前登録をお願いいたします。(配信は講演会のみ)

https://zoom.us/webinar/register/WN_sU3XP4TTTTez2I6yzk_OwA

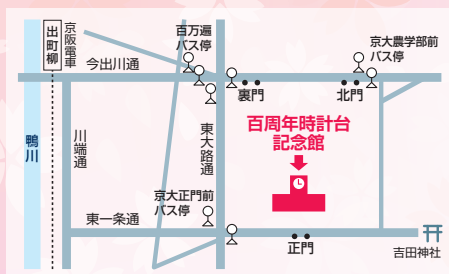
ご登録いただいたメールアドレスに追って視聴用URLが
送付されますので、講演会当日はそちらのURLにアクセスを
お願い致します。



オンライン参加用

2023年3月11日(土)
13:30~18:30

京都大学百周年時計台記念館 2 F
国際交流ホール



聴講無料

要事前登録



岡村秀典 教授

古代中国 人はどのように生きたか

司会: 向井 佑介 (京都大学人文科学研究所准教授)



[参加方法]

事前登録が必要です (聴講は無料)

対面方式による講演 (先着70名まで) と webinar による
オンライン同時配信の併催

1 対面での参加を希望される方は、こちらのアドレスに氏名とご所属
を明記のうえお申し込み下さい。

z-academy@zinbun.kyoto-u.ac.jp

なお、定員に達し次第、募集を締め切りますので、予めご了承ください。



対面参加用

2 オンラインでの視聴を希望される方は、こちらのリンクもしくは
二次元コードから事前登録をお願いいたします。

https://zoom.us/webinar/register/WN_jcnsN_BIQNGHtr9TGL59ZA

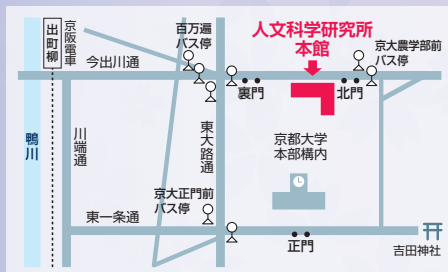
ご登録いただいたメールアドレスに追って視聴用URLが
送付されますので、講演会当日はそちらのURLにアクセスを
お願い致します。



オンライン参加用

2023年3月16日(木)
14:00~15:30

京都大学人文科学研究所本館
(総合研究4号館) 共通1 講義室



聴講無料

要事前登録

京都大学人文科学研究所退職記念講演会

京都大学人文科学研究所

竹沢泰子 教授



略歴

ワシントン大学大学院人類学研究科博士課程修了 (Ph.D.)。カリフォルニア大学サンタバーバラ校講師、筑波大学社会科学系専任講師・助教授、マサチューセッツ工科大学 (MIT) 人類学科客員教授、京都大学人文科学研究所助教授等を経て、2005年より現職。専門は、文化人類学、アメリカ研究、特に人種・エスニシティ論、移民研究。

主著

『アメリカの人種主義』(名古屋大学出版会、2023)、『新装版 日系アメリカ人のエスニシティ——強制収容と補償運動による変遷』(東京大学出版会、2017)、*Race and Migration in the Transpacific* (Yasuko Takezawa and Akio Tanabe, eds., London: Routledge, 2023)、*La race objet des sciences sociales, un dialogue franco-japonais* (Yasuko Takezawa et Jean-Frédéric Schaub, eds., Paris: École des hautes études en sciences sociales, 2021)、シリーズ『人種神話を解体する』(責任編集、東京大学出版会、2016) など。

人間の分類と差別

—人種をめぐる文化人類学的探究—

人間は他者をなぜどのように分類してきたのか、本質化された分類に人びとはいかに抗ってきたのか——この文化人類学の根源的ともいえる課題を、「人種」をキーワードとしながら追いかけてきた。本講演では、日本における人種概念の生成から、アメリカにおけるステレオタイプ、芸術にみられるアイデンティティの表現をはじめ、これまで行ってきた研究をふりかえりながら、人間の分類と差別について改めて問い直してみたい。

京都大学人文科学研究所

岡村秀典 教授



略歴

京都大学文学部卒業、同大学院文学研究科博士後期課程中退、同文学部助手、九州大学文学部助教授、京都大学人文科学研究所助教授を経て、2005年より現職。博士(文学)。専門は、中国考古学、特に国家形成論、宗教文化論、東アジア国際関係論。

主著

『東アジア古代の車社会史』(臨川書店、2021)、『鏡が語る古代史』(岩波新書、2017)、『雲岡石窟の考古学 游牧国家の巨石仏をさぐる』(臨川書店、2017)、『中国文明 農業と礼制の考古学』(京都大学学術出版会、2008)、『中国古代王権と祭祀』(学生社、2005)、『夏王朝 王権誕生の考古学』(講談社、2003)、『三角縁神獣鏡の時代』(吉川弘文館、1999)

古代中国

人はどのように生きたか

人びとは動植物をどのように利用したか、王や諸侯たちは家畜をどのように管理し、権力の拡大と維持に努めたか、貴族はなぜ軽快な馬車を棄てて遅鈍な牛車に乗ったか、人びとは銅鏡に何を願い、鏡工たちはそれをどのように表現したか、人びとは仏像に何を祈り、皇帝はなぜ大仏を石崖に切り開いたのか。遺跡や遺物から過去のできごとを振り返るだけでなく、それぞれの時代に息づく人びとのいとなみについて考えてみたい。

